



ユーミックス モデル
U-MIX *Modello* サーモスタットシリーズ

サーモスプレー混合栓（洗髪用）…… K386

（寒冷地用・K386K）

サーモデッキシャワ混合栓…… SK786D・SK7860D

（寒冷地用・SK786DK・SK7860DK）

施工・取扱説明書

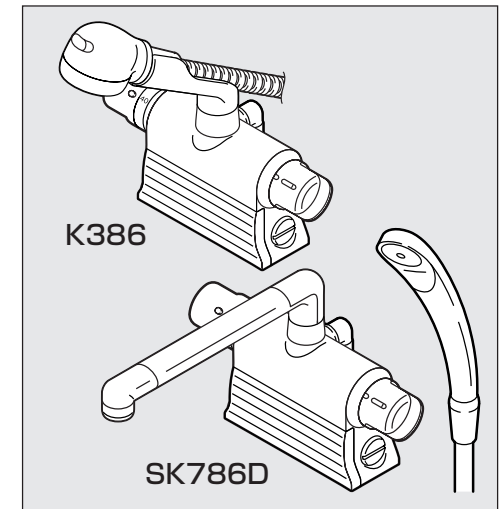
施工、ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。



もくじ	各部の名称……………1	— ご使用について —	お手入れ……………10
	安全上のご注意……2～4	温度調節方法……………7	ストレーナ・吐水口の掃除……11
	— 施工について —	使用方法……………8	故障？その前に……11
	適切な使用条件……………5	スプレー混合栓について……8	分解図……………12～14
	施工上のご注意……………6	器具の温度調整方法……9	
	器具の取付け……6～7	寒冷地用の水抜方法……9～10	

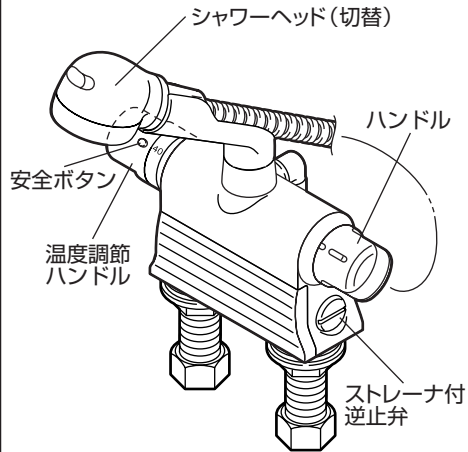
サーモスタット混合栓について

- 本器具は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。
- 使用中に給水・給湯圧力が変化しても混合水の温度はほとんど変わりません。
- 温度調節ハンドルで、好みの温度に変えられます。
なお、安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出す事はありません。
- ストレーナを設けていますので、掃除が容易に行えます。

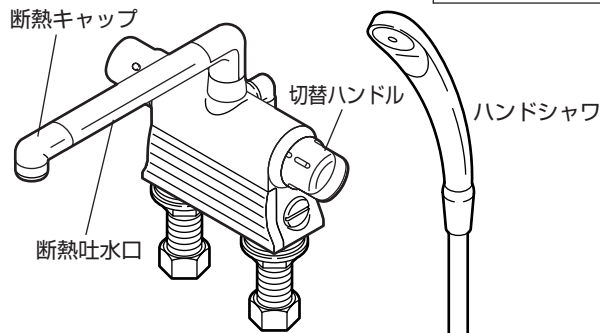
各部の名称

一般用

サーモスプレー混合栓 (洗髪用)

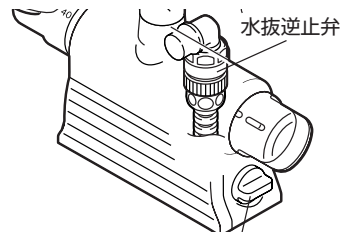


サーモデッキシャワ混合栓

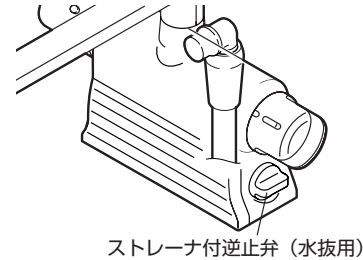


寒冷地用

サーモスプレー混合栓 (洗髪用)

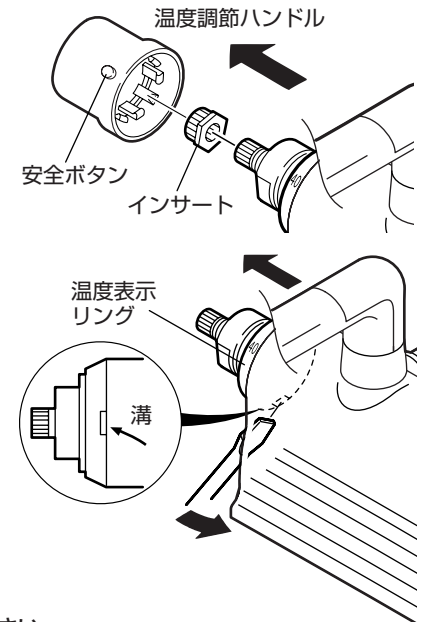


サーモデッキシャワ混合栓

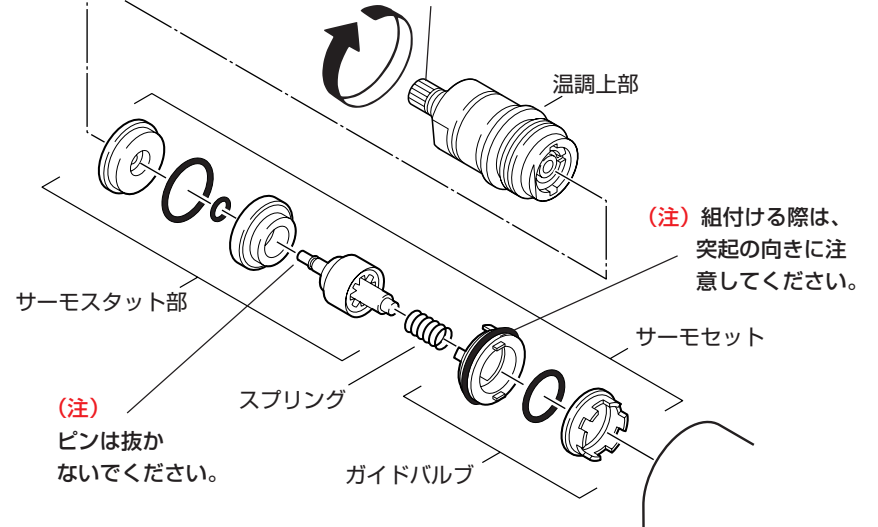


サーモスタットの取はずし方

- (1) 温度調節ハンドル、インサートをはずす。(ハンドルは、はめ込み式のため、強く引張って抜いてください。)
- (2) 温度表示リングをはずす。(リング下部の溝にドライバーなどを差し込んで抜いてください。)
- (3) 温調上部・サーモセットをはずす。(温調上部をはずすと中からサーモスタット部が出てくるので部品を紛失しないように注意してください。)



(注) 組付ける際は、栓棒をまわさないようにしてください。



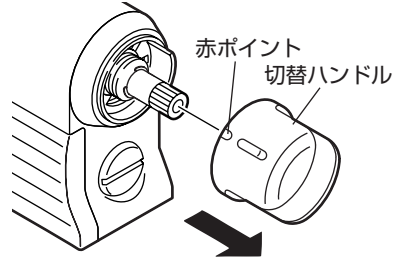
(注) 組付ける際は、突起の向きに注意してください。

(注) ピンは抜かないでください。

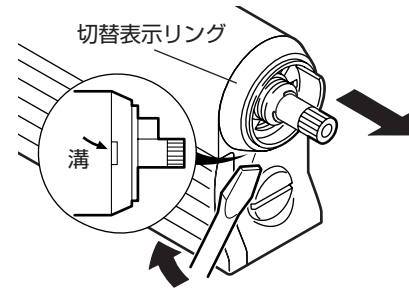
- 温度調節ハンドルを取付ける際は、温度表示の40の文字と温度調節ハンドルの安全ボタンを合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。
(注)40℃でない場合は吐水温度の調整が必要です。(参照:P9 器具の温度調整方法)

一時止水切替部(切替部)の取はずし方

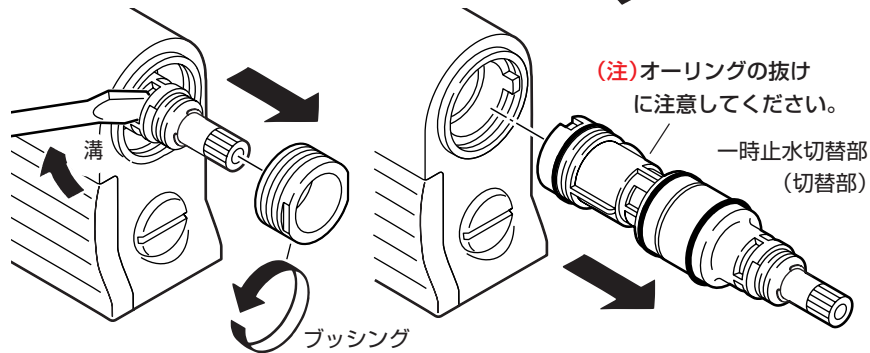
(1) 切替ハンドルをはずす。
(ハンドルは、はめ込み式のため、強く引張って抜いてください。)



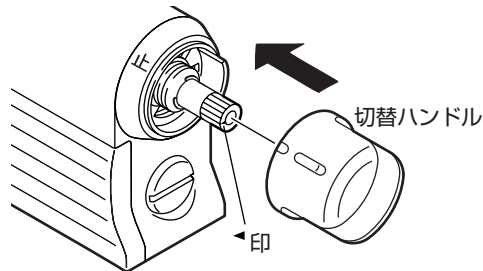
(2) 切替表示リングをはずす。
(リング下部の溝にドライバーなどを差し込んで抜いてください。)



(3) プッシング、一時止水切替部(切替部)をはずす。(一時止水切替部(切替部)の溝にドライバーなどを差し込んで抜いてください。)








●切替ハンドルを取付ける際は、本体の「止」表示と切替ハンドルのレバーを合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。



安全上のご注意




- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  ……「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
-  ……「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
-  ……「分解してはいけません！」
-  ……「指示した場所に触れてはいけません！」
-  ……「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

〈施工上の注意事項〉

⚠ 注意

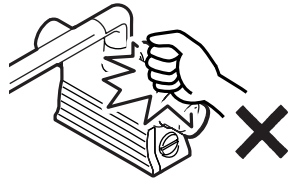
-  湯水を逆に配管しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。
- (寒冷地用の場合)
 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を選定してください。
(参照:寒冷地用の水抜方法)
-  給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

〈使用上の注意事項〉

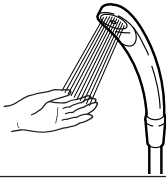
⚠ 注意



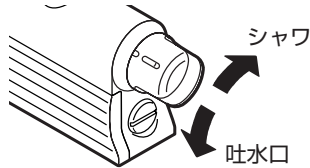
器具に乗ったり、強い衝撃を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



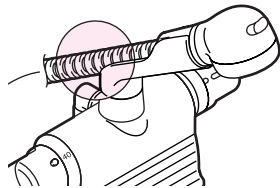
シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



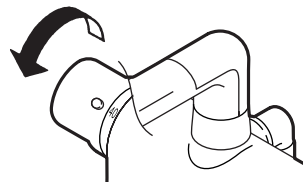
お使いになる前に、吐水口(カラン)側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。



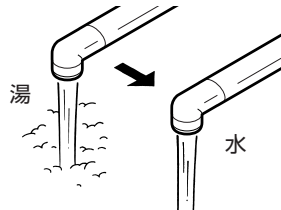
高温の湯をお使いの時には、ホースは高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

SK786D
SK7860D

- | 一 般 用 | |
|-------|-----------|
| 1. | 温度調節ハンドル |
| 2. | インサート |
| 3. | 温度表示リング |
| 4. | 温調上部 |
| 5. | サーモセット |
| 6. | 胴 |
| 7. | 止めビス |
| 8. | 断熱カバー |
| 9. | 断熱カバー |
| 10. | 断熱カバー |
| 11. | 切替ハンドル |
| 12. | 切替表示リング |
| 13. | プッシング |
| 14. | 一時止水切替部 |
| 15. | オーリング |
| 16. | ストレーナ付逆止弁 |
| 17. | 座バックシン |
| 18. | バックシン |
| 19. | 座金 |
| 20. | ロックナット |
| 21. | バックシン |
| 22. | スベリバックシン |
| 23. | 袋ナット |
| 24. | リバックシン |
| 25. | バックシン受 |
| 26. | 袋ナット |
| 27. | 断熱吐水口 |
| 28. | オーリング |
| 29. | 断熱キャップ |
| 30. | ピン |
| 31. | オーリング |
| 32. | カシメ網 |
| 33. | 整流板 |
| 34. | 整流器本体 |
| 35. | エルボ |

K386

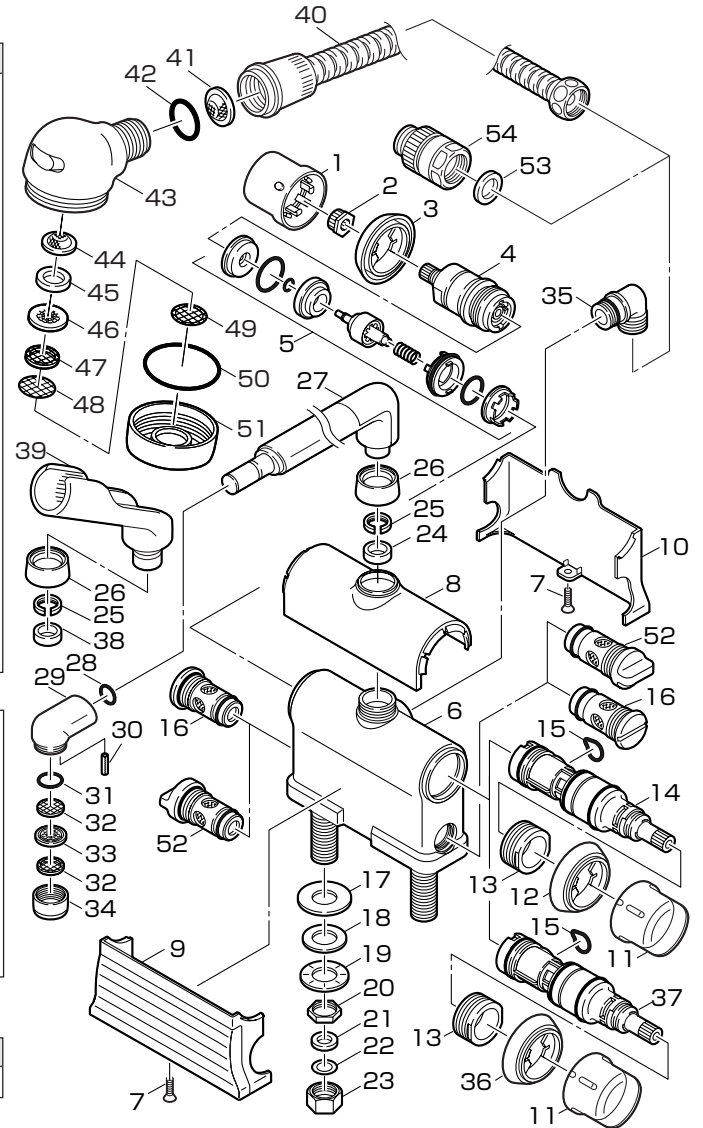
- | | |
|-----|-------------|
| 36. | 切替表示リング |
| 37. | 切替部 |
| 38. | バックシン |
| 39. | シャワー受 |
| 40. | ラセンホース |
| 41. | ストレーナ |
| 42. | オーリング |
| 43. | シャワーヘッド(切替) |
| 44. | U形網 |
| 45. | バックシン |
| 46. | 整流板 |
| 47. | カシメ網 |
| 48. | 網 |
| 49. | カシメ網 |
| 50. | オーリング |
| 51. | シャワー板 |

SK786DK
SK7860DK

- | 寒 冷 地 用 | |
|---------|-----------|
| 52. | ストレーナ付逆止弁 |

K386K

- | | |
|-----|-------|
| 53. | バックシン |
| 54. | 水抜逆止弁 |



●SK7860D・SK7860DKはNo.6(胴)の形状が違います。

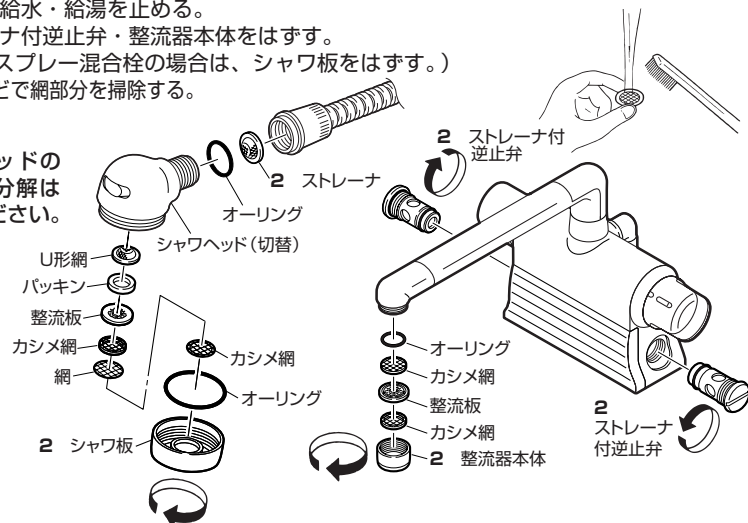
ストレーナ・吐水口の掃除

近所で水道工事があったり、長時間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 器具への給水・給湯を止める。
- 2 ストレーナ付逆止弁・整流器本体をはずす。
(サーモスプレー混合栓の場合は、シャワ板をはずす。)
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。

(注)

シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。



再使用時 ストレーナ付逆止弁・整流器本体（サーモスプレー混合栓の場合はシャワホース接続部とシャワ板）が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ②
高温しか出ない。	① ② ③
低温しか出ない。	① ② ③ ④
温度調節がうまくできない。	① ② ③ ④

- ① 止水栓は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：ストレーナ・吐水口の掃除
- ③ 温度調整は適当か。……………参照：器具の温度調整方法
- ④ 混合栓に湯がきているか。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。

⚠ 注意



(お客様へ)
サーモセット内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

〈使用上の注意事項〉

⚠ 注意



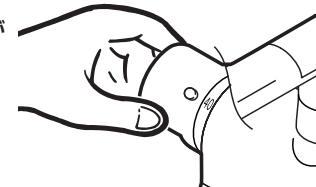
温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

確認

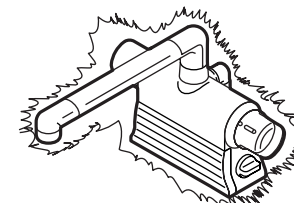


温度調節ハンドルを急にまわすと、温度が急上昇する事がありますのでハンドルはゆっくりまわしてください。
やけどをするおそれがあります。

ゆっくりと

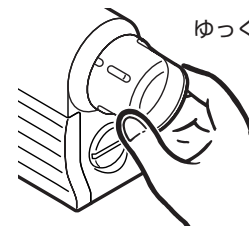


(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
(参照:寒冷地用の水抜方法)



ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事がありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ゆっくりと



漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

施工について

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

条 件	
●給水・給湯圧力	0.05MPa {0.5 kgf/cm ² } ~ 0.59MPa {6.0 kgf/cm ² } 0.59MPa {6.0 kgf/cm ² } を超える場合は減圧弁を使用してください。
●給水圧力 ≥ 給湯圧力にしてください。	なお、給湯圧力が0.098MPa {1.0 kgf/cm ² } 未満の場合は 給湯圧力 + 0.147MPa {1.5 kgf/cm ² } 0.098MPa {1.0 kgf/cm ² } 以上の場合は 給湯圧力 + 0.196MPa {2.0 kgf/cm ² } 以内にしてください。
●給湯温度は使用温度より 10℃以上高くしてください。	
●ハンドル・切替ハンドルは全開にしてください。	

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
- ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
- 吐水温度：42℃
- ハンドル・切替ハンドルは全開

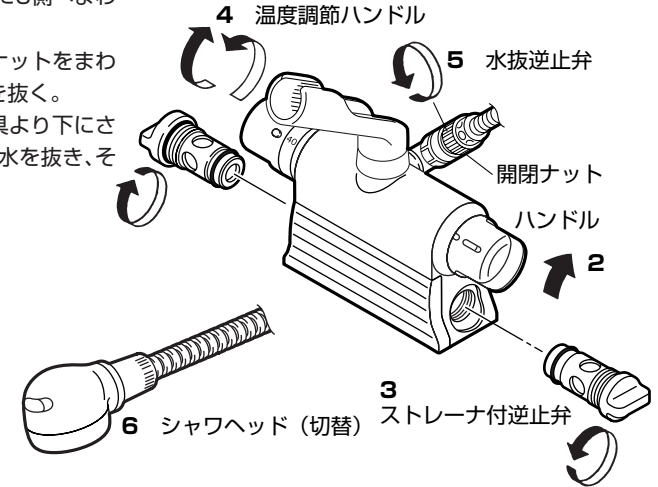
(P=給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

ガス瞬間式給湯器			
従来タイプ			比例制御タイプ
8号	10号	12号	16号
P+0.06 {0.6}	P+0.08 {0.8}	P+0.098 {1.0}	P+0.08 {0.8}

- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 快適なシャワ(吐水量が 8 ℓ / min で 42℃を確保)に必要な値を示しています。
(快適なシャワ(吐水量が 6 ~ 19 ℓ / min)を得るために、12号以上のガス瞬間式給湯器との組合せが必要です。)
- シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯器の号数(能力)が必要となり、条件に適さないと、ご希望の吐水温度が得られない事がありますのでご注意ください。
- 給湯能力 8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。

●サーモスプレー混合栓(洗髪用)

- 1 配管の水抜栓を操作する。
- 2 ハンドルを開く。
- 3 ストレーナ付逆止弁をはずす。
- 4 温度調節ハンドルをH側へまわして水を抜き、さらにC側へまわして水を抜く。
- 5 水抜逆止弁の開閉ナットをまわしてホース内の水を抜く。
- 6 シャワヘッドを器具より下に下げ、ホースを振って水を抜き、そのまま置く。



- 再使用時 ●ストレーナ付逆止弁・開閉ナット(サーモスプレー混合栓のみ)が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。
●水抜きをしてもストレーナの網に付着した水滴が凍り、吐水しない場合があります。その場合は、ぬるま湯をかけて温めてください。

お手入れ

- メッキ部分(金属製部品) やわらかい布で拭き、時にはミシン油やカーワックスを適量にしみこませた布で拭いてください。
- 樹脂部分(プラスチック製部品) やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

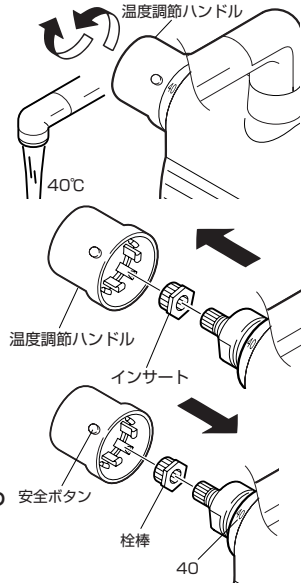
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



器具の温度調整方法

器具は出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の調整を行ってください。

- 1 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が40℃になるようにまわしてください。
- 2 吐水温度が40℃になる位置で温度調節ハンドル、インサートははずしてください。
(ハンドルは、はめ込み式のため、強く引張って抜いてください。)
- 3 目盛の40の文字と安全ボタンを合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。



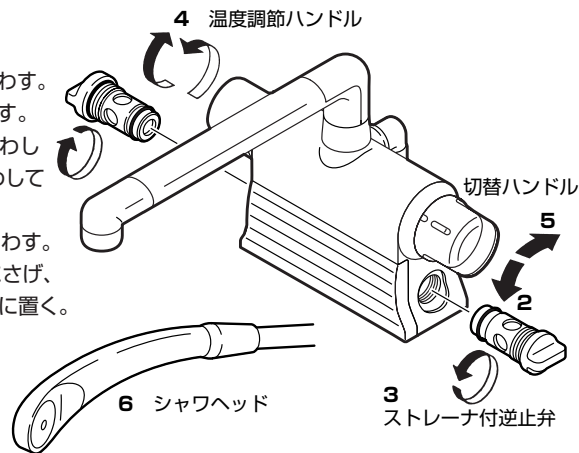
- (注) ●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒をまわさないようにしてください。
●目盛・数字とも目安としてご使用ください。

寒冷地用の水抜方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

●サーモデッキシャワ混合栓

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 切替ハンドルを吐水口側へまわす。
- 3 ストレーナ付逆止弁をはずす。
- 4 温度調節ハンドルをH側へまわして水を抜き、さらにC側へまわして水を抜く。
- 5 切替ハンドルをシャワ側へまわす。
- 6 シャワヘッドを器具より下にさげ、ホースを振って水を抜き、床に置く。



施工上のご注意

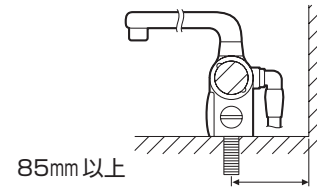
- 配管内の掃除 …… 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 給水・給湯配管の確認 …… 通常の配管は左側が湯、右側が水です。逆配管は使用できません。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。

器具の取付け

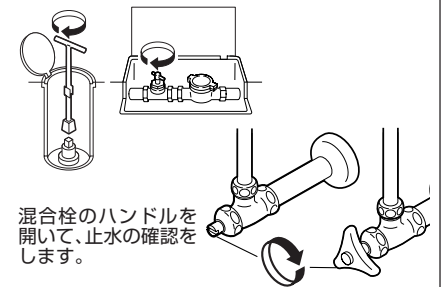
配管内の掃除 …… 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。

取付前の確認

器具のシャワホース取付部分が壁などに当たらないことを確認してください。(器具の取付足の中心から壁までの寸法を85mm以上あけてください。)



1 止水栓を閉めます。

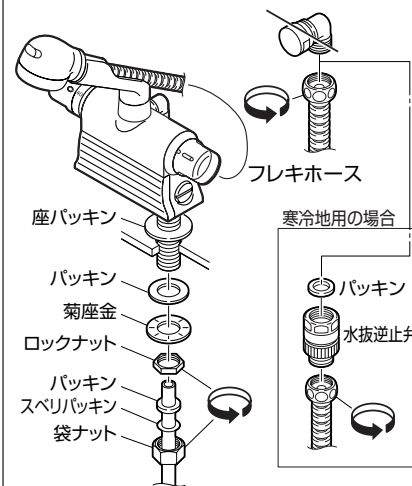


2 新しい混合栓を取付けます。

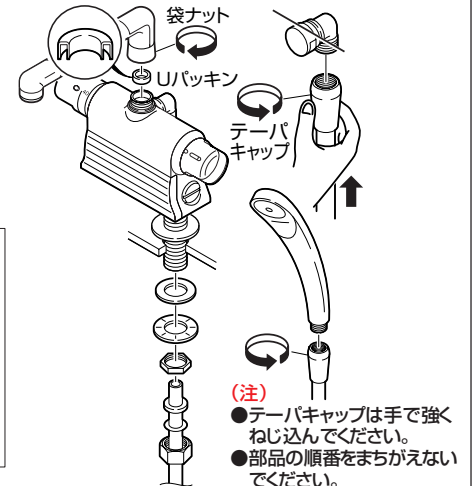
器具を固定する時は、取付穴周囲の汚れを取り、工具(別売)を利用して確実に締付けてください。

[取付例]

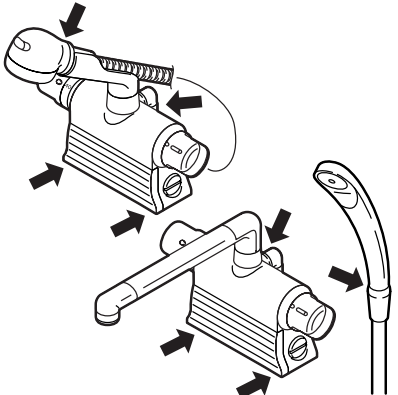
●サーモスプレー混合栓 (洗髪用)



●サーモデッキシャワ混合栓



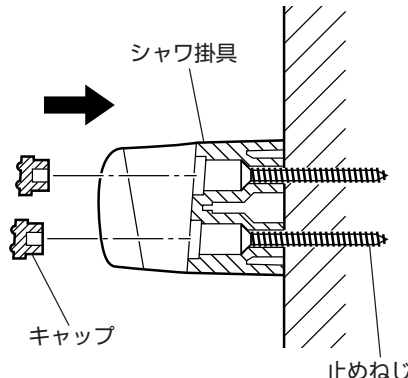
3 止水栓を開いて水もれをチェックします。



接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。
水もれがある場合は、もう一度はじめてからやり直してください。

(注) 40℃でない場合は吐水温度の調整が必要です。
(参照:P9器具の温度調整方法)

4 シャワ掛具の取付け(シャワ付製品の場合)



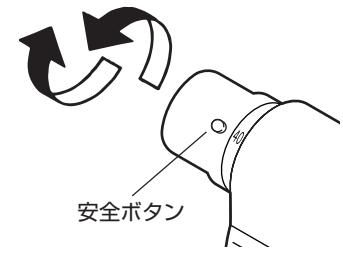
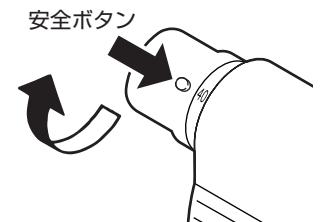
シャワ掛具
キャップ
止めねじ

(注) 向きに注意してください。

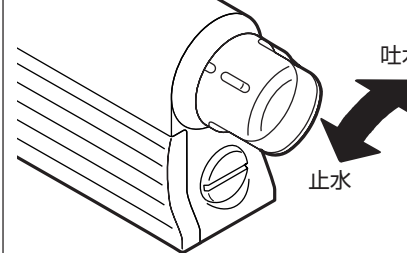
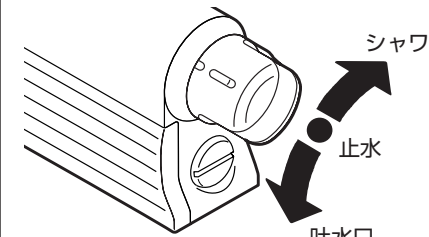
ご使用について

温度調節方法

温度調節ハンドルをまわす事によって温度を変えられます。

<p>温度調節</p> <p>安全ボタンを目盛に合わせて好みの温度で ご使用ください。数字は目安としてご使用 ください。</p>  <p>安全ボタン</p>	<p>高温の使用</p> <p>40℃以上にしたい時は安全ボタンを押し てまわしてください。</p>  <p>安全ボタン</p> <p>(注) 熱湯を使用した後は必ず、温度調節 ハンドルを 40 以下に戻しておい てください。</p>
--	--

使用方法

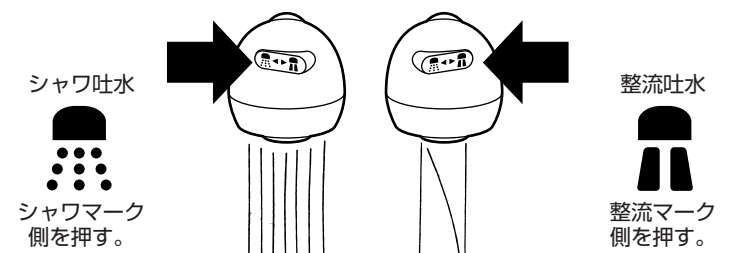
<p>サーモスプレー混合栓(洗髪用)の吐水・止水</p> <p>ハンドルを後へまわすと吐水し、手前へ まわすと止水します。</p>  <p>吐水 止水</p>	<p>サーモデッキシャワ混合栓の吐水・止水</p> <p>切替ハンドルを後へまわすとシャワ側、手前へ まわすと吐水口側に切替えられます。中央で 止水位置です。</p>  <p>シャワ 止水 吐水口</p>
---	--

(注) ガス瞬間式給湯器の場合
ハンドル・切替ハンドルは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

スプレー混合栓について

シャワの使用方法

整流吐水、シャワ吐水がご使用になれます。



シャワ吐水
整流吐水

シャワマーク
側を押す。

整流マーク
側を押す。